

地域に活力をもたらす新農業プロジェクト創出セミナー

～農業を核として、地域で稼ぐ新たな産業の創出を！～

北海道農業は、農家数の減少や就業者の確保、海外との競争、農業政策、気象問題、消費者ニーズ等、大きな変化の中にありますが、北海道において農業は、地域を維持していくうえで欠くことができない産業といえます。このような状況の中から、これからの北海道農業を改革・強化していくためには、他産業との連携や行政の力も結集して、地域に新たな農業プロジェクト創出し付加価値を上げ稼げる仕組みをつくる必要があります。

本セミナーでは、農業の新たな可能性を見出し、地域に波及する新しい産業プロジェクトを創出するために、先進事例を深く掘り下げて検証し、農業と企業・行政などが連携した新たな地域活性化プロジェクトについて考えます。

《開催内容》

日時

平成30年12月6日（木） 13:30～16:50
17:00から交流会（有料・参加任意）

場所

TKP札幌駅カンファレンスセンター2階
（ルーム2B）※右図参照
【札幌市北区北7条西2丁目9番】

受講対象

地域農業について考える農業者、企業や自治体関係者等、北海道農業との連携による新たなプロジェクト展開に関心のある方

定員

50名（参加無料）

申込方法

裏面を参照ください。

カリキュラム

※カリキュラムは変更となる場合があります。



時間	項目	内容	講師（敬称略）
13時30分	開会	開会挨拶	
13時35分 ～ 14時25分	イントロダクション （農業を核とした新プロジェクト の必要性と可能性）	なぜ北海道では、農業を起点とした新産業が必要なのか。 ◆北海道の農業経営の現状と課題 ◆農業の衰退による地域崩壊 ◆地域における行政との協力の必要性 ◆企業参入による農業の新展開の可能性	（株）GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文 （以下の事例発表の進行を含む）
	（休憩5分）	（演台等設営）	
14時30分 ～ 15時00分	事例Ⅰ（農業者による改革の 取組） 『生乳流通の一連の改革が成 し遂げること』（仮題）	家族・地域と連携し、農業を超えた企業体を構築する先進事例に学ぶ。 ◆農業者と地域への想い ◆生き甲斐と働き甲斐、そして、安定収入を ◆地域や企業との連携による新展開 ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	（有）ジェイファームシマザギ 社長 島崎 美昭
15時00分 ～ 15時30分	事例Ⅱ（企業視点による農業 の高度化の取組） 『機械化農業へ～日本一のプ ルーベリー栽培への取組』（仮 題）	企業力による農産物の高付加価値化に取組む先進事例に学ぶ。 ◆良質な農産物を適正価格で販売するしくみ ◆企業との連携による高付加価値商品の開発 ◆農業者と消費者を繋ぐ企業の役割 ◆「農商工連携」に加え地域行政との連携の必要性 ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	アイケイ・ファーム余市(株) 取締役 栃尾 裕輝
	（休憩10分）		
15時40分 ～ 16時10分	事例Ⅲ（農業者に寄り添う人の 取組） 『野菜を通じたコミュニケーシ ョンがつなぐもの』（仮題）	農業者や農産物への熱い想いを持つ人との連携により、新たな農業の可能性 が見えてきた事例に学ぶ。 ◆「野菜」の魅力 ◆想いを持つ人の発信力 ◆人から人へ、ネットワークの拡大 ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	North Aspiration 代表 濱本 ひとみ
16時10分 ～ 16時40分	事例Ⅳ（企業的な発想による 農業者の取組） 『農業から人材まで～輝楽里 グループの現在』（仮題）	地域の農業者と連携し、新しい農業経営に取組む先進事例に学ぶ。 ◆「農業」にとられない自由なスタイルとは ◆「地域で1番質の高い企業を目指す」 ◆農業就労者確保の取り組み ◆他の事例発表者からのコメント、会場との質疑応答	（株）輝楽里 常務取締役 藤城 正興
16時40分 ～ 16時50分	まとめ	新産業プロジェクトの創出に向けた農業と企業・行政との連携・協力が生む可 能性	（株）GB産業化設計 代表取締役 岩井 宏文
17時00分 ～ 18時00分	交流会 （名刺交換会）	ソフトドリンクと軽食を用意し、参加者相互の懇談によるネットワーク形成の場と する	各講師も参加予定

講師のご紹介

■岩井 宏文 (いわい ひろふみ)

(株)GB産業化設計 代表取締役。北海道の農業の現場に精通し、農業現場を飛び回りながら、北海道農業の高い潜在力を活かした、これまでにない新たなビジネスフィールドをともに考え、「しくみ」を設計・構築している。新たな農業ビジネスの開発や農業経営の改善、6次産業化等への取り組みに実績を有する。

■島崎 美昭 (しまざき よしあき)

(有)ジェイファームシマザキ 代表取締役。昭和48年に島崎牧場の後継者として後を継ぎ、以来酪農に関わりながら、地域が抱える様々な課題にも取り組んでいる。北海道の農業団体の要職多数を努め、北海道農業の新たな未来の為に日々尽力している。

■栃尾 裕輝 (とちお ひろき)

アイケイファーム余市(株) 利業部長。稲畑産業(株)の食品部門として、ブルーベリー栽培に取り組む。商社ならではの経営的視点と幅広いネットワークで、農業経営に革新をもたらすべく日々奮闘中。

■濱本 ひとみ (はまもとひとみ)

North Aspiration 代表。元HUGマート店長として、その立ち上げに携わる。生産者の生の声とともに、安心・安全な北海道の選りすぐりの食材を紹介したいと、野菜を通じた活動を広げるべく当社を立ち上げ。

■藤城 正興 (ふじき まさおき)

(株)輝楽里 常務取締役。輝楽里は、江別市美原地区の7戸の農家による農業生産法人で「農業」というかたちにとらわれない自由なスタイルで、新しい農業経営に取り組んでいる。

参加申込

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX (011-210-7480)にてお申し込みください。(先着順受付)

*平成30年12月3日まで受付(申し込み多数の場合早期に締め切る場合があります。)

参加申込書

中小機構北海道 人材支援課 行き

(FAX 011-210-7480)

平成30年 月 日

セミナー名	「地域に活力をもたらす新農業プロジェクト創出セミナー」(12月6日開催) ～農業を核として、地域で稼ぐ新たな産業の創出を！～		
ご住所・連絡先	〒 - 電話 () - / FAX () -		
農場等名 又は企業名等			
参加者名 (役職・担当等)	()	交流会*	
参加者名 (役職・担当等)	()	交流会*	

*交流会(名刺交換会)参加の方は、参加の場合○。(会場にて会費500円を申し受けます。)

(注)個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合及び法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

【お申込み・お問合せ先】

中小機構 北海道

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

人材支援課 担当：杉森

札幌市中央区北2条西1丁目1-7
ORE札幌ビル6階

TEL 011-210-7475 FAX 011-210-7480

中小機構北海道は、「国の中小企業施策の実施機関」で、北海道農業の経営強化や高付加価値化の支援も行っております。また、中小機構北海道が運営する「中小企業大学校旭川校」では企業の人材育成のための様々な研修を行っております。

中小企業大学校旭川校

旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号

TEL 0166-65-1200

★詳細はHPから！

中小 旭川校

検索